

☆環境保全型農業を推進するにあたり、高知県内のハウス農家はマルハナバチ・ミツバチを利用している（特に安芸地域はナスの生産が盛んで積極的にハチの導入を行っている）が、高知県農業技術課の調査によるとマルハナバチ・ミツバチ導入農家の78%に刺されの経験があり、15%は10回以上刺されていた。また、約12%に全身的なアナフィラキシー症状が疑われる者がいた。

早急に安全対策が必要であったため、取り組みを行ったが、今後環境保全型農業を推進するために安全対策は必須であり、専門的支援が必要であると考えられる。

まとめ

- ・ 今後の取り組みについて